

ROSE-HULMAN での最初の 1 学期が終わり、新学期が始まりました。成績は KIT と同じようにオンラインで確認できます。成績はあまり良くありませんでしたが、3 つとも単位が取得できました。

派遣留学も半分が終わりました。学期間の休みに一度金沢に戻り、研究や夢工房プロジェクトの打ち合わせなどをして来ました。

今月は特にイベントが無かったので、ROSE-HULMAN での学生生活について報告します。

寮について

寮は学内に 6 つ以上あり、学年ごとにどの寮に入るかが決まっています。基本的には毎年別の寮に引越すようです。寮には門限は特にありません。House keeper の方が毎週決まった日に部屋を掃除してくれます。冬になると建物全体を常に暖房するので、冬でも室内では暑くなっています。室内と室外の温度差が激しく、暖房が過剰な気がします。

学食について

Café は朝、昼、夜の 3 回に分けて開かれ、朝は 7:00~9:30、昼は 10:50~13:50、夜は 4:45~19:00 と時間が決まっています。土日はまた別の時間設定で、土曜は昼のみ 11:00~13:00、日曜は朝 8:00~9:00、昼 11:30~13:00 となっています。土曜と日曜の夜は Café で食事ができません。学内にはこの Café の他にサンドイッチが買える Sub Way があります。Sub Way は毎日 10:00 から 24:00 まで営業しており、土日の夜は通常 Sub Way で食事を買う事になります。

Café と Sub Way の料金は、Meal Plan として最初に購入しており、学生証をスキャンする事で料金を支払います。車無しで行ける範囲には、Café と Sub Way しかありません。

Final exam

今回は Mechatronics の授業のみ Final Exam があり、ほかの科目は代わりに Final Project や Paper がありました。Final Exam は学期の最後の週にあり、通常は 1 科目につき 3 時間の試験が行われます。

Machine shop

Mechatronics の Final project は、それまでの授業で学んだ Micro computer や電気回路の知識を使って実際に物を作るというテーマでした。加工には Machine shop と呼ばれる加工施設を使いました。KIT の夢工房のような施設で、各種の加工機械が置いてあります。夢工房と違い、工作機械の使用には講習やライセンスは必要なく、誰でも全ての工作機械が使用できます。夢工房よりも工作機械や工具の使用に手続きが必要ないため便利ではありますが、管理があまりされていないので手入れもあまりされていません。また、工作機械の使い方を知らないまま学生が使用する場合がありますので、安全性に疑問が残ります。

授業のシステム

授業は月曜から金曜まであり、土曜と日曜は授業がありません。水曜は Lab の日になっていて、KIT の工学実験や工学設計のような種類の授業があります。

Class は最大でも 30 人程度と KIT よりも少人数で、KIT と同じようにオフィスアワーが設定されています。授業の難易度は KIT と同程度だと秋学期の授業を受けて感じました。実際に、秋学期に受講した Mechatronics は KIT の工学専門実験と難易度、進め方共に同じような内容でした。これは私の個人的な考えですが、以前から KIT の学部の授業を受けるだけでは十分ではない思ってい

ましたが、その点ではRHITもあまり変わりません。

こちらでは毎日授業を受けているのでKITにいる場合よりも研究は進みませんが、毎日英語の勉強ができます。授業の内容はKITの授業とそれほど変わらないので、KITで既に受講した科目をこちらで受講してもあまり意味がないと思い、今回はロボティクス学科の授業になかったImage recognitionを選択しました。学部の授業の内容はKITと同じか、KITよりも少し充実しているので、ロボティクスの勉強をしながら英語も勉強したかった私にとってはROSE-HULMANへの長期派遣留学は良い選択だったと思います。

今学期はLabの授業を取らなかったもので、水曜日の授業がありません。自分の研究も本格的に始めようと思います。これで今月の報告を終わります。